

令和6年度 第1回社会教育委員会会議摘録

開催日時：令和6年5月17日（金） 午前10時00分～午前11時40分

開催場所：精華町役場 5階501・502会議室

出席委員：

高鍋房美委員、尾崎麻由美委員、村上栄委員、北尾直美委員、堀口紀代美委員、
播磨富士子委員、尾崎万佐子委員、吉田一雄委員、丸山琴羽委員、向井麻美委
員、友久庄一委員、木崎政行委員

出席事務局職員：

教育長 川村智、教育部長 松井克浩、生涯学習課長 小笠原文紘、生涯学習
担当課長 上野泰弘 生涯学習課社会教育係長 瀧阪尚也、生涯学習課主幹
西置雄一、生涯学習指導員 畑中悟

傍聴者：無し

内容

1 議事

（1）委員長・副委員長の選任について

（2）各種委員の選任について

2 報告

（1）精華町社会教育委員の会議議事一覧について

（2）主な生涯学習事業について

（3）令和6年度社会教育事業（京都府等）の予定について

（4）その他

《会議内容》

1 開会 小笠原課長

ただいまから令和6年度第1回精華町社会教育委員会会議を開催させていただきます。本日司会を務めさせていただきます、生涯学習課長の小笠原と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

委員の皆様におかれましては本日は大変お忙しい中、ご出席を賜り、誠にありがとうございます。また日頃から本町の社会教育の推進にご尽力を賜っておりますこ

とに、この場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げます。本日の会議を始めるに当たりまして、川村教育長からご挨拶を申し上げます。

2 教育長挨拶

精華町教育委員会教育長の川村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本年度最初の社会教育委員会議の開会に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。みなさま大変それぞれお忙しい中、ご出席を賜りありがとうございます。

本日は大変すがすがしい天気で、新年度の社会教育委員の会議のスタートにふさわしい陽気となりました。皆様には日頃から本町の生涯学習社会教育の推進のためにご尽力を賜っておりまして、感謝を申し上げます。

この社会教育委員であります、社会教育法の規定に基づき、委嘱をさせていただくものであります。本年は、昨年度から引き続き留任いただきました、9名の方と、新たに就任いただく3名の方に委嘱をさせていただくことになりました。

これからの社会では、学校・家庭・地域・行政などすべての人々がそれぞれ連携し、人が繋がる地域づくりをしていくことがますます重要であるというふうに考えます。委員の皆様には、本庁の、社会教育、生涯学習の推進に対して引き続きお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

昨年度より、文化財の取り組みとしまして、文化財保護法の改正を受けて町内の指定、未指定の文化財も含めました、その保存活用に関して、精華町文化財保存活用地域計画を作成するための作成委員会を立ち上げて取り組みを進めているところであります。

それから社会体育の方でありますけれども、サッカーのJリーグのクラブが地域と一体化となって、サッカーの普及や振興を行う市町村、これをホームタウンと言いますけれども、以前から京都サンガF Cがこのホームタウン広域化のために、市町村との協定締結を進めています。本町におきましても、昨年度末から京都サンガF Cホームタウン事業として連携を始めたところであります。

また、昨年度に部活動の地域移行ということで、昨年度は吹奏楽においてその取り組みをしましたが、本年度よりスポーツについても地域移行の取り組みをスポーツ庁の委託を受けて進めていこうということで、計画を進めているところであります。

さてこの後本日は、委員長、副委員長の選出について、それから各種委員の選任についてなどについてご審議をいただきますので、委員の皆様方には、限られた時間でございますが、様々なご意見をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

す。以上簡単でありますが、開会に当たりましての挨拶とさせていただきます。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

3 令和6・7年度社会教育委員委嘱状の交付

川村教育長より委員12名に委嘱状を交付。

4 委員紹介

各委員及び事務局職員の自己紹介を行った。

5 議事

(1) 委員長・副委員長の選任について

事務局から社会教育委員の職務等について、社会教育法、精華町社会教育委員に関する条例、精華町社会教育委員会運営規則に基づき説明。

委員長・副委員長について自薦、他薦の意見を募ったが意見無しのため、事務局からの提案により、令和4・5年度に引き続き高鍋委員を委員長、村上委員を副委員長とする案を提言した。意義無しのため委員長に高鍋委員、副委員長に村上委員が選任された。

○高鍋委員長就任挨拶

実は明日50年ぶりの中学校の同窓会を控えてまして、50年前の当時のことを思い出していました。実は50年前の大阪万博のときに未来像として描かれたものが、ほぼ実現されてると聞きました。

ただ悲しいことに、その時の絵に描いて今実現できてないものが1つあるなど。どの子が絵を描いても、みんながニコニコしてるんです。そこだけが今は実現できてないなと思いました。

私が子供のときは、親戚がすごく少なかったけど周りの人をみんな親戚と思ってました。それぐらいこの家にでも入れましたし、家の鍵を閉めたら近所のおばちゃんがおいしいもの持ってきてくれなくなるからっていうので家の鍵も窓も全部開けっ放しでした。それが今、家も学校も防犯のために閉ざされてしまっていますが、閉ざしたからといって必ずしも安全になったかっていったらそうでもなく、むしろ、近所のおじちゃん、おばちゃんが犬の散歩で学校周辺を歩いているときの安全だったかなというふうに思います。そういったこともあり、社会教育委員を16年させていただいて、昔のようなおせっかいの人がもっと増えていいなと思いました。

私は何も資格とか特技とかなくて、コンプレックスの数だけをいつも自慢にさせていただいているんですが、1つだけ自分の目標を持っています。全職種に友達をつくるという夢です。そうすると、正しいことをちゃんと聞くことができるからで

す。インターネットで調べるのもいいんですけども、間違った情報が入ってくることもあるので、正しいことを知るためにはその仕事してる人を全部友達にしたらいいなというふうに思っています。おかげさまでほぼほぼ実現できてるかなあというところで、友達づくりだけは唯一、私ができることかなと思いますので、そういったところでお役に立てたらなと思います。よろしくお願いします。

○村上副委員長挨拶

現在メインに活動しているのは、自治会もそうなんですけども、精華中学校のコミュニティ委員として今活動しており、そこから社会教育として何かできることはないかなと今学んでいます。

地域の方が学校に入って生涯学習をする中で、その方たちの笑顔とか子供たちのふれあいを構築する中で、やっぱり1つの型になるかなというふうに思いますので、その辺の支えを社会教育委員という立場でもありますけども、一員としてのそういう仕事をさせていただきたいなと思っております。ただ今年はちょっと精華町でね、山城総会がございますので、6月7日、それに向けての諸準備等はまた皆様のご協力を得て、何とか無事に総会を実施できたらいいなというふうに思いますので、委員長を支えながら、頑張っていきますのでどうぞよろしくお願いします。

(2) 各種委員の選任について

①精華町民生委員推薦会委員、②精華町教育委員会所管施設指定管理者評価委員、③精華町子ども祭り実行委員会委員、④精華町子どもの読書環境づくり推進協議会、⑤精華町明るい選挙推進協議会委員、⑥いじめ問題対策委員会委員、⑦精華町町民健康づくり推進協議会委員について、職務内容等を事務局から説明。

①は吉田一雄委員、②は高鍋房美委員長、③は尾崎麻由美委員、④は播磨富士子委員、⑤は丸山琴羽委員、⑥は村上栄副委員長、⑦は堀口紀代美委員が選任された。また、令和6年度から現在まで、充て職として社会教育委員が選任される各種委員については以下のとおり。

- ・京都府山城地方社会教育連絡協議会理事：村上副委員長
- ・精華町地域で子どもを育てる連絡協議会委員：高鍋委員長
- ・町民文化賞・スポーツ賞選考委員：高鍋委員長
- ・青少年健全育成協議会協力委員：高鍋委員長
- ・精華町人権啓発推進委員：全員

6 報告

(1) 精華町社会教育委員の会議議事一覧について

事務局より昨年度に実施された会議の内容について説明。

（２）主な生涯学習事業について

生涯学習課として、今年度は主として１３の事業について実施を予定している。従前より実施している生涯学習支援事業や青少年健全育成事業等に加え、昨年度より実施している中学校部活動地域移行の実証事業の推進や文化財保存活用地域計画作成事業について説明した。

（３）令和６年度社会教育事業（京都府等）の予定について

令和６年度社会教育事業（京都府等）の予定について現時点で決定している予定を説明、その中で６月７日（金）の山城地方社会教育委員連絡協議会総会と６月２８日（金）の京都府社会教育委員連絡協議会総会の出欠確認を行った。

なお、山城地方社会教育委員連絡協議会総会についてはむくのきセンターでの開催で開催地の社会教育委員の動員が必要のとのことだったので、動員に参加してもらえる委員を募集、司会：丸山委員 議長：村上副委員長 受付担当：尾崎麻由美委員、堀口委員、播磨委員、尾崎万佐子委員となった。各総会の欠席者については委任状の提出により議事の一切の権限を議長に委ねることを了承された。

【各委員からの意見等】

（村上副委員長）

昨年度は会議数の数が３回で少なかったことを踏まえ今年は４回は実施したい。具体的に第２回を９月６日（金）の京都テルサで行われる近畿地区社会教育研究大会（京都府社会教育大会）の前に、第３回を１２月１３日（金）山城地方社会教育委員連絡協議会理事会（３回目）の後に行ってはどうか。

（事務局）

年４回を目標として、まずは第２回を上記日程に沿うかたちで行う予定でスケジュール調整していく。

（播磨委員）

社会教育委員として他の団体の委員として携わっていることから、他の団体の会議でどういう活動をしたか報告してはどうか。

（事務局）

次回の会議で報告してもらおうよう調整するとともに、他の委員の会議で社会教育委員の活動を報告してもらえればありがたい。

（吉田委員）

来年「けいはんな万博」が行われる。現在具体的な実施計画等が進んでいない中で社会教育委員の意見等も取り入れたい。自身は祝園神社いごもり祭との講義を行う予定。

（木崎委員）

イノベーションセンターを駆使して子どもたち中心の活躍できるイベントができないか。（今回の意見を踏まえて、けいはんな万博のワークショップに参加される予定）

（高鍋委員長）

「二十歳のつどい」について、コロナ禍前は社会教育委員全員が客席に参加させてもらっていたが、R 5年度は自身だけが招待され、来賓として舞台に上がらせてもらった。R 6年度はどのような実施を検討しているのか。また、今後の事務局と委員との情報共有についてはできる限り、電子媒体でのやりとりをお願いしたい。

（事務局）

コロナ禍で事業をスリム化した経緯があり、昨年度もそうした。ただし、その方法が最適というわけでもないので今年度の方向性については教育委員会で検討し、改めて次回以降の会議でお伝えできればと思う。

また、事務局と委員との情報共有についてはできる限り要望に答えていくが、書面での通知等が必要な場合もあるのでその点についてはご了承いただきたい。

7 閉会挨拶 村上副委員長

この4月から菅井（地区）で子供たちの見送りをする人材がいなくなりまして、ちょっと頑張ろうかってことで7時半から段取りして、菅井のお宮さんの横から小学校まで一緒に歩いているんです。子供たちを見守る立場の人間が、交通安全を中心に考える中で子どもたちは慣れたもので、自分たちで主体的になって交通安全を意識した行動が取れており、やっぱり経験を積みば子供たちも十分、大人と同じようなことができるんだなあということを改めて感じました。

我々はそれぞれの立場で、社会教育委員として子どもたちを始めとした社会教育を育む環境の中で活動することが期待されています。情報共有を密にして、委員の研修等に積極的に参加し、よりよい活動を推進できればと思いますので、委員の皆様1年間どうぞよろしくお願いいたします。